

立山のちからこぼ2022

Tateyama Re design (再設計) 2025

将来世代に責任を果たす。



舟橋たかゆきプロフィール

経歴

- 1965 5月17日生(56歳)
利田小、雄山中、富山東高卒
- 1988 明治大学商学部卒。河野洋平事務所の方針でサラリーマン(1年間)
- 1989 衆議院議員 河野洋平秘書(8年間)
- 1998 立山町議会議員に当選(32歳)2期
- 1999 県内の若手市町村議会議員で構成する政策勉強会『政策フォーラム34』設立、初代代表
- 2005 『新自治体経営塾』を設立、初代代表
- 2006 立山町長に当選(40歳)
- 2021 現在 4期目



河野洋平(元 内閣官房長官、衆議院議長)令和3年11月15日 五郎丸の自宅にて



雷鳥沢ヒュッテをスタート、奥大日岳経由、称名滝まで(2021年7月23日)

現役職

- 全国中山間地域振興対策協議会 会長
- 全国観光地所在町村協議会 副会長
- 全国町村会政務調査会 財政副委員長

その他 農事組合法人こがねのメンバーです。

家族 妻・娘2人

好きなことば 挑戦するものが成功する

楽しみにしていること 1年に一度の登山(というより、山小屋でビール)

舟橋たかゆき後援会

〒930-0274 富山県中新川郡立山町五郎丸161
TEL(076)462-3439 FAX(076)462-3825
E-mail kouenkai@funahashi-takayuki.com
ホームページ <https://www.funahashi-takayuki.com>



<https://www.facebook.com/takayuki.funa>

ふな はし たてやまの勇氣(56才)
舟橋たかゆき

はじめに

「かつては、基幹産業は農業（稲作）と謳っておりましたが、コメ消費減により、遊休農地が目立つようになってきました。農家を主な顧客としてきた商店も廃業が続いています。それにもかかわらず、私たちが『何もない』と思っていた場所で、町外・県外の方々が新たな事業を興そうとしています。」

【第10次立山町総合計画（2021年）から】

2月、家族のコロナ感染による自宅待機中に、この総合計画案の添削をしていました。その中から2025年度までに「やれる」施策の一部を紹介します。



コロナへの対応は、2022年も続きます

新型コロナウイルス感染症対策の継続

→ 現状 →

ワクチン接種を希望される接種対象年齢者のほとんどが9月末までに2回目の接種を完了。2022年から3回目の接種を予定。

→ これまでに取り組んできたこと →

保育園等や小中学校に

- ① 接種が遅れていた町外在住の教員等にも、接種を斡旋
- ② 病院等で導入されているウイルス除去機能の「空気循環式紫外線清浄機」などを各教室に配置
- ③ 全国でも意外と少ない「教室に網戸」やタッチレス水栓

やること

- ① 令和3年12月頃からの医療従事者等に続いて、令和4年1月下旬からの高齢者等の3回目接種についても、これまで通り、素早く対応します。



立山
16歳から17歳まで
10月中旬完了へ

- ② 飲食店等にも補助
継続

- ③ 体育館等の不特定多数の人が利用する施設にもタッチレス水栓に順次切り替えます。

県道と町道に通学路あり

通学路の安全確保

「できることからなんでもやる」

→ 現状 →

既存の道路に歩道を整備するには、拡幅のための用地買収が必要となり、特に建物があると、多額の費用と時間がかかる。

→ これまでに取り組んできたこと →

教育委員会、道路管理者（県道・町道）、警察、学校、PTA、交通安全協会、交通指導員会による合同点検と対策案を検討。その結果を町公式HPで公表し、すぐできることからやってきました。



役場庁舎車側▶

やること

- ① 路側帯のカラー舗装化による、歩行空間の明示
継続 2018年の公約
- ② 交差点にラバーポールを設置し、歩行だまりを確保 継続
- ③ 県道の歩道整備の時期が見込めないときは、町が先行して用地を購入します。

「このまちで、子供を育てたい、 学ばせたい」と思ってもらえるように High quality Education

→ 現 状 →

出生数は、年平均144人(2016~2020)
20代女性の流出と未婚・晩婚化が要因

→ これまでに取り組んできたこと →

- ①奨学金返済応援事業 ※町に住み続ける限り、毎年の返済額、最大6割(上限18万円)を最長10年間補助。★財源はふるさと納税
- ②若年世帯新生活支援ポイント
※住宅取得等で30万たてぽ。 ※2021年11月11日現在 37世帯が申請
- ③学校教育環境と基礎学力充実に向けて、町の財政資源を注力
※県内でいち早くエアコン、雨が降ってもすぐ使えるグラウンド

やる
こと

- ①町中心部に子育て支援センター(児童館)
☆荒天時☁にも室内で遊ばせられる安心空間
- ②経済的支援の拡充 2023年度新1年生からmont-bellの通学用「わんパック」を配布するほか、子どもたちには寂しい思いをさせない施策を進めます。(これまででも経済的に厳しい家庭には給食費を無料にしています)



mont-bellの通学用
リュックサック「わんパック」▶

軽量で高性能な通学用
バックパック「わんパッ
ク(One-Pack)。
詳細は mont-bell ホー
ムページへ。



- ③学校教育環境は引き続き、県内トップクラスを維持。電子黒板ほか最新ICT機器を導入済。読解力向上のために、リーディングスキルテスト[※]を導入

※ベストセラー『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』の新井紀子先生が監修

子育て環境

いつでも「みらいぶキッズステーション」

→ 現 状 →

- ①保護者から「冬場の遊び場がほしい」という要望あり
- ②釜ヶ淵町営住宅の部屋が空いている

→ これまでに取り組んできたこと →

- ①冬季間限定みらいぶキッズステーション(みらいぶのイベント広場でエアージョイス。但し、コロナ禍は中止)
- ②釜ヶ淵特定公共賃貸住宅は子ども同居の場合3割引き



▲みらいぶキッズステーション(2019年2月)

やる
こと

- ①コロナ収束後は、みらいぶでの冬期イベント開設日を拡大します。児童館が完成すれば1年を通して、遊ぶことができます。
- ②子育て世帯に町営住宅家賃引き下げを提案します。

若年層専門の LINE 相談員を配置

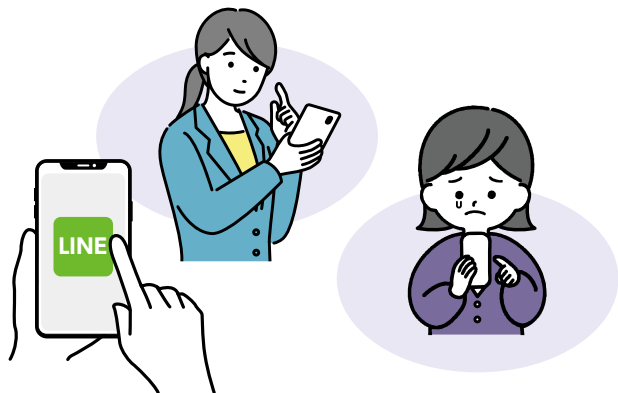
→ 現 状 ←

貧困、DV、介護（ヤングケアラー）等の厳しい家庭環境の子どもたちを見つけ出し、手を差し伸べたい。

→ これまでに取り組んできたこと ←

（不登校を防ぐため）立山町見守り会議、要保護児童対策地域協議会で情報共有

やること 夜間でも相談を受けることができるように、専用のLINEを開設。対象は、18歳以下の子どもと、中学生以下の子を持つ、ひとり親等の経済的に厳しい状況の保護者。



里地里山地域の高齢化により、 鳥獣被害・集落機能維持困難など課題増

『上東ヒルズ』プロジェクト 「行ってみたい、暮らしたい」エリアへ

→ 現 状 ←

人口流出が進み、旧上東中学校校下の小中学校は、すべて廃校となったが、ヘルジアンウッドをはじめとする民間企業の進出により、県内外から注目されるエリアになっている

→ これまでに取り組んできたこと ←

- ①旧谷口小に(株)リングロー[※]のサテライトオフィスを誘致
※年商57億円、TBSがっちりマンデー出演
- ②日中上野地区にヘルジアンウッドの立地支援
- ③芦見・白岩地区に酒蔵誘致
- ④上段丘陵の雑木林を伐採し、棚田や富山湾を見渡せる景観整備
- ⑤移住定住コンシェルジュによる空き家物件紹介

やること

- ①民間資本が旧日中上野小を活性化の拠点施設に計画しており、バックアップ
- ②町営バス「ここバス」をEV化し、維持費軽減に加え、周遊観光ルートとしての利便性を高めます
- ③E-bike（電動アシスト自転車）レンタル事業の環境整備 **継続**
- ④免許返納者にはタクシー利用できる「たてポ」を付与 **継続**



▲◀国立競技場の設計に参画した隈研吾氏が設計を手がけたヘルジアンウッド

福祉や医療サービスを維持するための 財源確保

企業誘致による安定税収（固定資産税）

→ 現 状 ←

国の補助で整備された農地から宅地への転用許可は容易ではありません。

→ これまでに取り組んできたこと ←

【これまでに誘致した主な企業】

- mont-bell初の大型複合店舗「モンベルヴィレッジ立山」
- (株)白岩「日本酒醸造」
- 医薬品やパッケージ製造の本社・工場

日本酒「IWA」と シャンパン界の帝王「リシャル・ジョフロワ氏」



◀著名な建築家の隈研吾氏が設計した醸造所

▼「IWA」という新たな日本酒ブランドを立ち上げたりリシャル・ジョフロワ氏は、高級シャンパン「ドンペリニオン」の最高醸造責任者を28年という長きにわたり努めた巨匠



◀日本酒 IWA
ボトルデザインはマーク・ニューソン（アップルウォッチをデザイン）。グリーンパーク吉峰の交流館で購入できます。



やる こと

- ①立山イノベーションパークに(株)カシイが本社まるごと移転するため、町が用地造成（約3万㎡）
【2021～2022】
- ②立山I.C.の南地区に、薬品製造会社立地のため町が用地造成（約3万㎡）【2022～2023】

アルペンルートは2年連続で平年の3割

立山黒部アルペンルート「リ・デザイン」

→ 現 状 ←

コロナ禍により、入込客の3割を占めてきたインバウンドはゼロ。2022年度も期待できない。国内団体客も厳しいなか、個人旅行者に上質な観光地として認知されることがポイント。

→ これまでに取り組んできたこと ←

国の交付金とふるさと納税を活用した立山駅前ロータリー電線の地中化事業【2019～2021】

やる こと

- ①立山駅前景観再整備（廃旅館をリノベーション『カフェとゲストハウス』）に取り組む民間事業者を環境省の補助事業を通じて支援しました。ここに町観光協会の出張所とmont-bellの小物販売や、E-bikeレンタル事業を予定
- ②称名滝遊歩道で電動シニアカーレンタル【2019～】



▶E-bike で立山駅からレストハウス称名まで

災害時に耐えられる、「しなやか」なまちに

①複合施設「(仮称)防災センターほか」整備 ②防災行政無線の戸別受信機を高齢者等に無償貸与

→ 現 状 ←

「防災行政無線スピーカーが聞こえない」との苦情あり

→ これまでに取り組んできたこと ←

環境省の補助事業を活用し、避難所となる学校等に停電時でも稼働するよう、太陽光発電と蓄電池を整備し、LED照明に更新。雄山中と釜ヶ淵小校舎は停電時でも空調稼働。総務省の公衆無線LAN環境整備支援事業により、学校にWi-Fi **[2020]**



▲複合施設イメージ

町民会館、耐震性のない町民体育館（旧勤労者体育館）、旧西部児童館、大雪待機の機能を集約することにより、将来世代の財政負担を軽減するための目玉事業です。

- やること** ①町民会館を解体し、学校体育館のような空間を確保。可動式客席によりコンサートが可能。児童館を隣接することによって、荒天時のこどもの遊び場にも **[2022~2023]**

★緊急防災減災対策事業債の活用により町負担は3割

- ②大雪の夜に役場職員が待機していた前沢新町地内にある水防活動拠点施設の一部を統合。
③太陽光発電と蓄電池を備え、公用車の充電。災害時の避難所に。

空き家利活用

五百石地区でリノベーション (新たな用途にリフォーム)

→ 現 状 ←

空き家も増加し、空洞化が著しく、不安を訴える住民が増えている。

→ これまでに取り組んできたこと ←

国交付金を活用し、地権者の測量や登記などの負担がない地籍調査事業を推進

- やること** ①町家再生等に見識のある専門家に利活用の可能性について調査を委託 **[2022]**
②まちなかで暮らしを体験できるよう運営事業者を支援 **[2023]**

農業の担い手支援で地域を元気に

立山町で就農を希望する移住者等のため インターン受け入れ組織「法人」を設立

→ 現 状 ←

釜ヶ淵地区中心部などの、基盤整備が進んでいない地域では、空き家や空き地が増加

→ これまでに取り組んできたこと ←

- ①不動産の流動性を高めるために、五百石地区に続いて地籍調査事業採択を国に要望中

- やること** ①首都圏から就農希望者（研修生）を募集。野菜・果樹等を生産、グリーンパーク吉峰等で販売。定住を図る。 **[2022~]**